

令和5年度 墨田区立東吾孺小学校 経営報告書

校長名 齊藤 伸治

学校目標	まな 学び 友 ゆう 遊
目指す学校像	○子どもたちが夢や目標をもち、仲間と力を合わせる学校 ○保護者に信頼される学校 ○地域とともにある学校 ○教職員が生き生きと働く学校
目指す子供像	○学びが好き……自分で考え、行動できる子 ○友だちが好き……思いやりがあり、人の気持ちが分かる子 ○遊びが好き……明るく元気で素直な子 学校経営方針「夢をかなえる力」についての学年別児童の姿 1年生・・・自分の良さに気付ける児童 2年生・・・自分の良さを伸ばせる児童 3年生・・・友だちの良さを認め合える児童 4年生・・・友だちと互いに支え合い、高め合える児童 5年生・・・身近な目標をもち、進んで取り組めるサブ・リーダー 6年生・・・将来の夢をもち、進んで挑戦できるトップ・リーダー
目指す教師像	○心身ともに健康で、児童・保護者・地域・職員とコミュニケーションをとり、職務に取り組む教師 ○専門性や指導力を高め、熱意や使命感をもって子どもや保護者、地域に向き合う教師

《説明》

- 各指標の 数. ●●% は、4「指標を達成」を最高に3, 2, 1までの4段階で達成状況を表示
- 学校関係者評価は、取組指標・成果指標に関する4段階評価の平均値を基にA～Dの4段階で表示

項目	取組目標	具体的方策	取組指標 (教員評価)	成果指標 (保護者評価等)	学校関係者 評価
各教科指導等	○確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施する。 ① タブレット端末を活用し各児童の状況に応じた個別学習に取り組ませる。 ② 話し合い活動等の協働的な学習により、対話的で深い学びに取り組ませる。	① ICTとGIGAの各担当を中心にタブレット端末を活用した効果的な個別学習について校内研修を年6回実施する。 ② 教務主任を中心に、児童の理解を深める協働的な学習について校内研修を3回実施する。	① 教員評価で「研修によりタブレット端末を活用した効果的な個別学習を指導できた。」等の肯定的な回答が 4. 100% ② 教員評価で「研修により児童の理解を深める協働的な学習を指導できた。」等の肯定的な回答が 4. 93%	① 保護者評価で、「基礎・基本が定着してきた」「主体的に学びに向かうようになってきた」「タブレット端末を使った学習が定着してきた」の肯定的な回答が 4. 88% ② 区学習状況調査の項目「思考力・判断力・表現力」で、目標値より 3. ±0～5未満	① A ② A

<p>○特別な支援を必要とする子に対しての、組織的な支援等を行う。</p> <p>① 指導方針を校内で共有し、全校体制で取り組む。</p> <p>② 学習支援員やスクールカウンセラーとの連携を計画的に実施する。</p>	<p>① 毎月の特別支援教育校内委員会で指導方針と指導内容、指導体制を検討し、結果を職員会議等で共有し、特別支援コーディネーターを中心に実践する。</p> <p>② 毎週、特別支援コーディネーターとスクールカウンセラー、学習支援員、特別支援教室「まなび」巡回指導員等との協議会で指導方針等を共有し、連携する。</p>	<p>① 教員評価で「指導方針を校内で共有し、全校体制で取り組むことができた。」等の肯定的な回答が</p> <p style="text-align: center;">4. 100%</p> <p>②教員評価で「学習支援員やスクールカウンセラーとの連携を計画的に実施できた。」等の肯定的な回答が</p> <p style="text-align: center;">4. 100%</p>	<p>※特別支援教育の個別内容は公開になじまない為、成果指標ではなく取組指標についての学校関係者評価を右に表示しています。</p> <p>①</p> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 80px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 80px;">A</div> <p>②</p> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 80px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 80px;">A</div>
<p>○社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。</p> <p>① 学級の係活動や学校の委員会活動等で様々な役割で長所を發揮させ、長所を活かせる職業等について考えさせる。</p> <p>② 学校全体で児童等の状況を理解・共有し、適切な教職員が相談を実施する。</p>	<p>① 学校経営方針「夢をかなえる力」に基づく学年別理想の姿について、学年指導計画に沿って長所の發揮と職業等の考察を指導する。</p> <p>② 定期または臨時の生活指導部会、いじめ・不登校対応校内委員会等において、児童等の状況を踏まえてふさわしい教職員を決め、教育相談を実施し、状況の改善等を図る。</p>	<p>① 教員評価で「各学年別理想の姿についての指導を計画的に実施できた。」等の肯定的な回答が</p> <p style="text-align: center;">4. 93%</p> <p>② 教員評価で「ふさわしい教職員による教育相談を適切なタイミングで実施し、状況の改善を図ることができた。」等の肯定的な回答が</p> <p style="text-align: center;">3. 87%</p>	<p>① 各種調査で、自己肯定感や自尊感情、将来の目標等に関する肯定的回答が</p> <p style="text-align: center;">4. 91%</p> <p>② 各種調査で、児童の教育相談に関する設問の肯定的回答が</p> <p style="text-align: center;">4. 93%</p> <p>①</p> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 80px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 80px;">A</div> <p>②</p> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 80px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 80px;">A</div>
<p>○教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う。</p> <p>① 理科で「自然に親しみ、主体的に問題を解決する児童の育成」をテーマに研究発表を行う。</p> <p>② 指導教諭の模範授業を全教員が参観し、校内で伝達講習を実施することにより、教員の授業力の向</p>	<p>① 年間13回の校内研修会を実施し、1月26日に研究発表会を開催することにより、日常の授業での工夫について区全体に周知する。</p> <p>② 年間14回の模範授業参観とその伝達講習会を実施し、学校全体の指導力・授業力の向上を図る。</p>	<p>① 教員評価で「理科の校内研究により、授業力が向上した。」等の肯定的な回答が</p> <p style="text-align: center;">4. 100%</p> <p>② 教員評価で「模範授業の伝達講習を受け、授業力が向上した。」等の肯定的な回答が</p> <p style="text-align: center;">2. 79%</p>	<p>① 区学習状況調査で、国語・算数は各項目で目標値+7ポイント以上、理科・社会は+3ポイント以上。</p> <p style="text-align: center;">4. 国算+7.1 3. 理社-0.2</p> <p>② 保護者評価で、学習に関する全項目の肯定的回答が</p> <p style="text-align: center;">4. 86%</p> <p>①</p> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 80px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 80px;">A</div> <p>②</p> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 80px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 80px;">A</div>

	上を図る。				
生活指導等	○いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等を行う。 ① 心の問題やいじめ等の前兆を早い段階で把握し、校内委員会で解決までのスケジュールを立て、役割分担を行って組織的に実行する。 ② いじめ防止授業等により、いじめをしない・させない・許さない態度を育成する。	① 毎日の主幹会で気になる児童の情報を吸い上げ、組織的な対応方針を決定する。次に、校内員会を事態把握当日に開催し、教職員・スクールカウンセラー、関係諸機関、保護者等との役割分担を決め、組織的に改善・解決に向けて実行する。 ② いじめ防止授業を年3回、関連する道徳の授業等を年間計画に基づいて計画的に実施する。	① 教員評価で「いじめや不登校等の課題に主幹会及び校内委員会の方針・決定に基づいて速やかに対応できた。」等の肯定的な回答が 4. 100% ② いじめ防止授業や道徳の授業等を計画通りに実施できた割合が 4. 100%	① 保護者評価で、いじめや不登校等の学校対応に関する設問の肯定的回答が 2. 67% ② 保護者評価で、いじめ防止授業や道徳の授業等への肯定的回答が 4. 86%	① B ② A
	○基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。 ① 「挨拶運動」と「生活リズムチェック」等により、基本的な生活習慣の徹底を図る。 ② 「特別の教科・道徳」を中心によりよい人間関係をつくらうとする態度と実践力を向上させる。	① 年2回（6月・11月）の児童挨拶マイスターによる「挨拶運動」、年3回の保護者との連携による「生活リズムチェック」、を中心に、年間を通じて基本的な生活習慣の徹底を図る。 ② 道徳の内容項目「B主として人との関わりに関すること」の授業を年9回程度行い、学級活動や学校行事等での指導と効果的に組合せ、年間を通じてよりよい人間関係づくりを進める。	① 教員評価で「挨拶運動や生活リズムチェックを中心に基本的な生活習慣の徹底を図ることができた。」等の肯定的な回答が 4. 100% ② 教員評価で「特別の教科 道徳」の授業を計画通りに実施し、よりよい人間関係づくりを進めることができた。」等の肯定的な回答が 4. 93%	① 保護者評価で、基本的な生活習慣に関する設問の肯定的回答が 4. 93% ② 保護者評価で、「友だちが好き、思いやりがあり人の気持ちがかかる」等に関する設問の肯定的回答が 4. 90%	① A ② A
	○危機回避能力の育成や子どもの安全を確保するための取組等を行う。 ① 交通事故等の日常の危険から大地震などの自然災害まで、被害の未然防止や減災について児童の実行力を高める。 ② 保護者・地域にも児童の安全確保について情報共有と役割分担を依頼し、学校・保	① 毎月の安全指導・避難訓練を計画的に実施し、交通事故や火災等の身近な事故や災害、地震・台風等の自然災害について、事故・被害の未然防止や減災について指導する。 ② 保護者には、年3回の保護者会、年2回の個人面談等の機会並びに学校便り等の手段により、安全確保の理解と協力を依頼す	① 教員評価で「安全指導・避難訓練を計画的に実施できた。」等の肯定的な回答が 4. 93% ② 教員評価で「保護者会や学校運営連絡協議会等の機会に、子どもの安全確保について理解と協力を依頼することができた。」等の肯定的な回答が	① 児童評価で、「学校や身近な地域で事故に遭わないように注意している」や「災害の際、自分がすべきことを分かっている」等の肯定的回答が 4. 95% ② 保護者評価で、児童の安全確保に関する学校対応や保護者対応について肯定的回答が	① A ② A

	<p>護者・地域が一体となって学校と学区の安全を確保する。</p>	<p>る。PTA・地域には、毎月の PTA 役員会や年 3 回の学校運営連絡協議会等の機会に依頼する。</p>	<p>3. 86%</p>	<p>4. 93%</p>	
<p>学校の管理運営</p>	<p>○経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行う。</p> <p>① 自己申告面接において各教職員に職層に応じた職務目標を考えさせ、主体的に学校経営方針の実現に貢献させる。</p> <p>② 職務の効率化等を図り、教職員が教材を研究する時間や児童に寄り添う時間を十分に確保する一方で時間外労働を縮減し、教職員のライフワークバランスを向上させる。</p>	<p>① 年 3 回の自己申告面接、随時の面談等の機会に、管理職層から教員に職務内容を確認し、指導・助言を行う。</p> <p>② 毎月末に教職員の 1 ヶ月の勤務状況を確認し、勤務時間に関して悩み等のある教職員に対して管理職層が相談にのり、改善策を指導・助言する。</p>	<p>① 教員評価で「管理職層からの指導・助言を受け、職層に応じた役割について理解し、実行することができた。」等の肯定的な回答が</p> <p>4. 93%</p> <p>② 教員評価で「職務への取り組み方や勤務時間のコントロールについて、管理職層からの確かな指導・助言を受けることができた。」等の肯定的な回答が</p> <p>3. 87%</p>	<p>① 教員評価で、「学校経営方針に基づいた組織的な教育活動への貢献」に関する肯定的回答が</p> <p>4. 91%</p> <p>② 教員評価で、ライフワークバランスに関する設問への肯定的回答が</p> <p>3. 84%</p>	<p>①</p> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 60px;">A</div> <p>②</p> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 60px;">A</div>
	<p>○子どもの実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う。</p> <p>① 区学習状況調査等により児童の学習状況の実態を把握して授業改善プランを作成・実行し、その成果を学校評価で検証する。</p> <p>② 区調査 i-check や体力テスト等により児童の心身の実態を把握して改善策や向上プランを作成・実行し、その成果を学校評価で検証する。</p>	<p>① 6 月の区調査結果を受け、7～8 月に授業改善プランを策定、9 月から授業改善を進める。改善状況を毎月の授業観察や小テスト等の定着度測定等に基づいて把握し、課題については改善策を立てて実行する。</p> <p>② 前期の i-check や体力テスト等の結果を受け、7～8 月に体力向上プランや生活指導改善策を策定、9 月から指導・対応を進める。改善状況を毎月の生活指導部会や体力向上委員会で把握し、課題については改善策を立てて実行する。</p>	<p>① 教員評価で「授業改善プランで児童の実態に合わせた目標を設定し、授業を改善できた。」等の肯定的な回答が</p> <p>4. 100%</p> <p>② 教員評価で「体力向上プラン等で児童の実態に合わせた目標を設定し、心や体力の向上・改善を図ることができた。」等の肯定的な回答が</p> <p>3. 86%</p>	<p>① 保護者評価で、授業改善に関する設問への肯定的回答が</p> <p>4. 87%</p> <p>② 保護者評価で、心の教育や体力向上に関する設問への肯定的回答が</p> <p>4. 89%</p>	<p>①</p> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 60px;">A</div> <p>②</p> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 60px;">A</div>

	<p>○適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。</p> <p>① GIGAスクールのための物品・ソフト等を充実させ、学校でも家庭でも、児童がタブレット端末等を活用できるデジタル環境を整える。</p>	<p>① 4月に予算を立て、年間指導計画に基づいて購入、導入、活用を図る。</p>	<p>① 教員評価で「GIGAスクール構想のための物品・ソフト等を計画的に導入し、活用できた。」等の肯定的な回答が</p> <p style="text-align: center;">3. 80%</p>	<p>① 保護者評価で、タブレット端末活用のための環境・設備についての肯定的回答が</p> <p style="text-align: center;">4. 82%</p>	<p>①</p> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 60px;">A</div>
	<p>○教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行う。</p> <p>① 土曜授業、学校公開、体育学習発表会等を公開し、学校の理解促進を図る。</p> <p>② 保護者アンケートで他項目と比較して理解度が低い道德に関して、道德授業地区公開講座や学校便り道德号等の工夫により理解度の向上を図る。</p>	<p>① 年11回の土曜授業、2回の学校公開、10月の体育学習発表会等の機会に保護者・地域を招き、教育活動の理解促進を図る。</p> <p>② 5月の道德授業地区公開講座、9月からの学校便り道德号(3回)、土曜授業での道德の授業等を実施する。</p>	<p>① 教員評価で「年間計画に基づいて公開を実施できた。」等の肯定的な回答が</p> <p style="text-align: center;">4. 100%</p> <p>② 教員評価で「道德に関して保護者等の理解を深める対策を実施することができた。」等の肯定的な回答が</p> <p style="text-align: center;">2. 79%</p>	<p>① 保護者評価で学校からの情報提供や公開に関する設問への肯定的回答が</p> <p style="text-align: center;">4. 88%</p> <p>② 保護者評価で道德の理解に関する設問への肯定的回答が、</p> <p style="text-align: center;">4. 86%</p>	<p>①</p> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 60px;">A</div> <p>②</p> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 60px;">A</div>
家庭・地域連携	<p>保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。</p> <p>① タブレット端末による家庭学習について、保護者との連携をいっそう充実させる。</p> <p>② 学校運営連絡協議会・PTAとの連携により、地域の人材や教育資源を活かした教育活動を行う。</p>	<p>① 毎日、児童にタブレット端末を使う家庭学習課題に取り組みせるとともに、保護者に学習の支援を依頼する。</p> <p>② 6年生の学校ハローワークに地域の方を講師として招き、職業講話をして頂く等の学習活動を、学校運営連絡協議会・PTAとの連携により実施する。</p>	<p>① 教員評価で「保護者との連携で、タブレット端末を活用した効果的な家庭学習に取り組みせることができた。」等の肯定的な回答が</p> <p style="text-align: center;">4. 100%</p> <p>② 教員評価で「学校運営連絡協議会やPTAとの連携により、地域の人材や教育資源を活かした教育活動を行うことができた。」等の肯定的な回答が</p> <p style="text-align: center;">4. 93%</p>	<p>① 保護者評価で、GIGAスクール構想に関する設問への肯定的回答が</p> <p style="text-align: center;">4. 82%</p> <p>② 保護者評価で、保護者や地域との連携に関する設問への肯定的回答が、</p> <p style="text-align: center;">4. 84%</p>	<p>①</p> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 60px;">A</div> <p>②</p> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 60px;">A</div>

学校運営連絡協議会委員の皆様には、今年度も学校の教育活動に対し建設的な御意見を提案していただきました。保護者の皆様にも、保護者アンケートで95.3%の高い回答率で御提案等をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。

〈1 学校関係者評価〉

学校運営連絡協議会委員の皆様から、大項目4つ〔各教科等指導〕、〔生活指導等〕、〔学校の管理運営〕〔家庭・地域連携〕ともに概ね高い評価をいただきました。

〔各教科等指導〕では、タブレット端末を活用した学習指導や学力定着の取組、地域の皆様をゲスト講師に招いてのキャリア教育、主任養護教諭やスクールカウンセラー、専門機関等との連携による組織的な教育相談に特に高い評価をいただきました。また、墨田区研究協力校として、2年間の理科・生活科の研究に取り組んだことに対して、「長年の課題だった理科に向き合ってくれた。」等のお言葉をいただき、1月の研究発表会での成果に繋がりました。

〔生活指導等〕では、挨拶運動等による基本的な生活習慣の徹底やよりよい人間関係をつくるための取組について特に高い評価をいただきました。一方、いじめや不登校については、より保護者や地域の理解を深めることを課題として御指摘いただきました。

〔学校の管理運営〕では、学校経営方針「夢をかなえる力をはぐくむ東吾婦小学校」への組織的取組や授業力向上への全校体制での取組、児童の心身の状況を踏まえた心の育成や体力向上の取組について特に高い評価をいただきました。一方、教職員のライフワークバランスの推進については、引き続き取り組むように御指摘いただきました。

〔家庭・地域連携〕では、学校からの保護者・地域への情報提供や学校公開、タブレット端末を活用した学習指導、保護者・地域との連携に特に高い評価をいただきました。一方、保護者の道德教育に関する理解については、さらに促進するように御指摘をいただきました。

〈2 保護者アンケート〉

〔学校生活全般〕〔環境整備安全安心〕では、全項目で90%以上の肯定的評価をいただきました。

「児童は、楽しく学校に通い、充実した生活を送っている。」「児童は、集団生活に必要な決まりを守り、友達と仲良く過ごしている。」は95%、「学校は、児童の安全や健康に十分配慮して教育活動を行っている。」は92%、「学校は校舎内外をきれいに清掃し、気持ちのよい教育環境を整えている。」は96%でした。一方、子ども達の学習の主体性については79%、学校のいじめ・不登校への取組の積極性については、67%の肯定的評価をいただきました。

高い評価をいただいた取組も、保護者・地域の皆様の御理解と御協力があつてこそ、学校の努力が成果となって表れたものと考えております。やや低い結果となりました取組につきましては、個別の内容が公開になじまない特別支援教育や生活指導等については、個人情報保護を第一としながら、地域や保護者の方々が学校の取組を理解できるように引き続き努めて参ります。すべてのアンケート結果を、教育活動をさらに充実・発展させるための貴重な御意見と受け止め、教職員一同で来年度の学校教育に活かして参ります。